

田名部参院議員ほか3県議、豪雨被災地(大畑、下風呂)現地視察

田名部匡代参議院議員をはじめ、立憲民主党の3県議会議員(田名部定男氏、田中満氏、今博氏)と升田世喜男衆院予定候補の5氏が8月25日、先の豪雨で未曾有の被害のあった大畑と下風呂地区を視察訪問しました。視察には現地むつ下北支部からは能登、目時、杉浦の党3役に栗橋が同行しました。

10時半過ぎに大畑赤川地区を訪れ、宮下むつ市長から被災および復興状況を30分程度にわたり説明を受けながら被災現場を視察しました。その後、下風呂被災者支援拠点となっている「海峡の湯」に場所を移し富岡風間浦村長からも被災および復興状況について意見交換しました。

両首長とも復興にあたり近隣自治体の連携が奏功した一方、国や県との縦割り行政の弊害などを訴えていました。列席した各級議員はそれぞれの立場で全面的に支援のための活動を展開する旨を伝えました。

その後、一行は大畑薬研地区で壊滅的な被害を被った「阿部農園」(夏秋イチゴ)、「山口養魚場」(海峡サーモン等稚魚)を訪問し、それぞれ被災状況を視察し、復興への要望などを聞きながら助力を約束し午後2時半過ぎに帰路につきました。



むつ市長の説明を聞く田名部参院議員、県議



視察に同行した目時代表、杉浦市議

【むつ市内の被害状況】

2021/8/24PM15:00 現在

《公共土木施設》〔むつ市管轄〕・河川、水路氾濫＝5カ所 ・河川、水路被害＝13カ所 ・道路冠水＝11カ所
・道路被害＝4カ所 ・農道被害＝1カ所 ・農業用水路被害＝2カ所
〔青森県管轄〕・橋梁被害＝1カ所 ・道路被害＝5カ所
〔下北森林管理署管轄〕・林道通行不能＝約33路線
《生産施設》・ビニールハウス冠水＝14棟 ・ビニールハウス屋根ビニール全破損＝1棟
・ニジマス等養殖施設土砂流入＝1件 ・さけ、ますふ化場施設土砂流入＝1件
・船外機船＝3艘転覆、1艘損傷 ・小型定置網流木の漂着＝2件
《店舗事業所被害》・店舗、事業所への泥水流入＝38件程度(うち、施設・設備、商品等損壊＝25程度)
《家屋被害》・床上浸水＝94件程度 ・床下浸水153件程度

【風間浦村のライフライン復旧状況】

2021/8/23 現在

- ・電 気……全地区復旧
- ・通信環境……(固定電話)下風呂で一部障害あり。復旧作業中だが数日かかる見込み。
(ネット環境)下風呂で一部障害あり。
- ・テ レ ビ……蛇浦、易国間、桑畑地区⇒北海道関係の放送のみ視聴可能
下風呂地区⇒青森関係の放送のみ視聴可能
- ・水 道……下風呂地区のみ断水。復旧時期は8月末。下風呂地区5ヶ所に給水タンクを設置。
下風呂地区住民を対象に下風呂温泉「海峡の湯」を無料開放。
- ・物 資……朝、昼、夕の食事等を「旧下風呂小学校」と「海峡の湯」で配給。
- ・道路状況……下北交通⇒易国間～佐井車庫通常通り運行。
コミュニティバス⇒桑畑～25日より大間病院間運行再開。
- ・ゴミ回収……風間浦村の下風呂漁港内に災害ごみの仮置き場を設置。災害により発生したごみを持ち込める。
「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資材ごみ」等で分別し指定ごみ袋に入る物は袋に入れる。
一般ごみの持ち込みは不可。仮ごみ置き場の設置終了時期については未定。

「公済会」へ指定管理者方式で確定！

一部事務組合下北医療センターはかねてより進めてきた同病院の民間移譲計画について、8月4日に断念し、従前どおりの指定管理方式での運営に転換しました。ただし、今までは「むつ下北医師会」が管理団体でしたが今後はむつ総合病院職員やOBで構成される「一般社団法人・公済会」が予定され、次の医療センター議会を経て正式決定する運びとなりました。

民間移譲公募には市内の3団体が説明会には出席したものの正式な応募団体はなかったとのことです。これらの団体が応募しなかった理由としては『コロナ禍で事業拡大断念』『施設の老朽化』『医師の確保が困難』など

があったとのことです。

こうした経過を踏まえて「むつ下北の地域医療を考える会（目時睦男共同代表）」では8月9日、第4回役員会を開催し、民間移譲が断念に至ったことについては評価しますが、一方でセンター側が移譲を表明して以降、7月末までに病院全職員の15%を超える18名が業務の将来性を見越せないなどの事由を中心に退職した事実などは見逃すわけには行きません。

他にも以下の点などを今後も引き続き、下北医療センター側へ問題提起しながら、活動を続けていくこととしました。

★現時点での取り組み課題

- ・ 民間移譲方針が失敗した責任をどう考えるか。
- ・ 現実に一連の政策により、職員の退職が相次ぎ、診療行為に支障が出ていることへの責任。
- ・ 指定管理者とされている「公済会」は指定管理者として妥当なのか。
- ・ 応募断念理由とされる「医師確保」「施設の老朽化」の課題は何も解決していないのではないか。
- ・ 今回の民間移譲を巡る民間移譲方針や見送り方針もいつ、どのような機関会議で決めたのか。
- ・ こうした『いのちと健康に関わる問題』について、市民に対して説明会を行わない点はあまりにも一方的な市政運営ではないか。
- ・ 医療センター議会で議論なしに結論だけを強行するやり方は、議会制民主主義をないがしろにし、医療センター管理者の独断専行意外の何物でもないこと。

指定管理団体予定の公済会とは

〔設立〕1961年1月

〔所在地〕むつ市小川町一丁目1番5号

〔会員数〕417名（医師10、薬剤師7、看護師240名他）

〔職員数〕61名（役員10名）

〔事業内容〕

- (1) 傷病者の援護事業
- (2) 医学研究の助成事業
- (3) 医療業務研修の助成事業
- (4) 地域協力事業
- (5) 訪問看護ステーション事業
- (6) 居宅介護支援事業
- (7) 薬局の経営
- (8) 施設利用者用の日用品の販売、食堂・理容の経営
- (9) 会員の福利厚生事業
- (10) その他この法人の目的達成に相当と認める事業

むつりハビリ病院 民間移譲は見送り

公済会を指定管理者に

むつりハビリテーション病院（むつ市）の民間委託を目指していた一部事務組合下北医療センター（管理者・宮下宗一郎むつ市長）が、目標としていた来年度の委託を見送る方針を固めたことが6日、関係者への取材で分かった。同病院経営に興味を示していた団体が新型コロナウイルスの影響を受け「医師の確保が見通せない」「事業拡大を断念」などとして公募に至らなかった。

同センターによると、4月の公募説明会は市内3団体が参加したほか県内外の3団体から問い合わせがあった。民間委託手続きの継続は困難と判断した同センターは新たな指定管理者を選考し、むつ市の一般社団法人「公済会」（濫田明徳理事長）を指定管理者候補者として指名する。議会の議決を経て正式決定する。公済会

はむつ総合病院の職員で構成し、調剤薬局、訪問看護、傷病者の援護事業などを行っている。むつりハビリ病院で働く人の雇用は継続する。宮下管理者は「結果的に医師10人が所属する一般社団法人に運営を引き受けてもらう段取りができた。むつ総合病院との連携が進み地域医療にプラスになると考えている」と語った。公済会の成田清正事務局長は「むつ下北の医療福祉の貢献に努める」と話した。

むつりハビリ病院は現在、むつ下北医師会が指定管理を受け運営し、下北地方の慢性期医療を担っている。病床は内科とリハビリテーション科の120床。医師は80代、60代、50代の3人で、新たな医師確保が困難な状況で、施設の老朽化も課題となっている。（鳥谷部知子）

2021/8/7 東奥日報

※みなさんがこのテーマを含む医療に関わる問題を感じておりましたらご意見をお聞かせください。
（目時・栗橋が役員としてこの取り組みに関わっています）

8月15日、終戦記念日街頭宣伝行動で恒久平和と憲法擁護を訴えました。

76年目の終戦記念日を迎え、下北地域九条の会は恒例の街頭宣伝行動を取り組みました。折からの豪雨被害もあり開催が危ぶまれましたが予定通り実施されました。

宣伝行動では木下共同代表のあいさつに続き、佐藤武市議（共産）、杉浦弘樹市議（立憲民主）が政党代表と

して決意を表明、その他各民主団体のメンバーも不戦の誓いを述べ、街頭集会宣言をフォーラム・栗橋が読み上げました。杉浦市議は大畑地区の養魚場の災害ボランティア活動の合間を縫って駆けつけ、終了後には再びボランティアに出かけました。



開会の挨拶をする木下共同代表



決意を述べる杉浦市議

「スガ改憲は許さない」むつ市民平和街宣宣言

敗戦後の廃墟の中で、当時の人々は「平和憲法」を国是としました。日本は「戦争する国」から「戦争しない国」へ、「天皇主権の国」から「国民主権・民主主義の国」へと生まれ変わりました。

前の安倍内閣と与党が強行制定した憲法違反の安保法制は、軍事強化を加速させて、今や私たちの国は「戦争する国」へ逆戻りしようとしています。

安倍内閣とその後継の菅内閣は、憲法53条に基づく野党の臨時国会開会の請求を無視するだけでなく、度重なる公文書隠ぺい・改ざん、破棄、国会での虚偽答弁、検察・学術・放送への人事介入など、今や民主主義そのものが重大な危機に瀕しています。

安倍前首相と同様、現政権が実現を目指す自衛隊明記の改憲は事実上の9条廃止であり、断じて容認できません。

コロナ禍を口実に菅首相と自民党は、非常時対応のためと称して「緊急事態条項新設」の改憲をも積極的に推し進めようとしています。この条項は、非常時の政府に基本的人権の制約など独裁に等しい強権を与えるものです。憲法と国民軽視の自民党政権の政治手法を見ればその危険性は自ずと明らかで、断じて容認できません。

国民の命と暮らしに直接関わるコロナ禍の問題は今や政治の最大課題です。「後手後手」「場当たり」や、「感染爆発」「トリアージ（命の選別）」そして「医療崩壊」「コロナ在宅死」などの言葉が示すとおり菅内閣の無能ぶりは誰の目にも明らかです。

無為・無策のコロナ禍対策だけではなく、一貫して憲法と民主主義軽視の政策をとり続けてきた自公政権を一日も早く退陣させて、私たち国民の安心・安全と、立憲政治を取り戻そうではありませんか。そのためにも市民と立憲野党の共闘体制をさらに強固なものにして、この秋の総選挙で勝利しましょう。

76年目の終戦の日にあたり、私たちはかつての日本が引き起こした戦争の悲惨さを改めて思い起こし、改憲阻止・政権交代実現のために、全国の草の根の仲間たちと手を携えて闘い抜くことを誓います。

以上

2021年8月15日

「スガ改憲は許さない！」むつ市民平和街宣者一同

〔主催〕 下北地域九条の会・改憲発議に反対する署名運動下北地域実行委員会

〔共催〕 立憲民主党・日本共産党・民主団体一同

今年も『浮島丸出航追悼集会』が開催されました

終戦直後の8月22日、多くの祖国朝鮮への帰還者が搭乗した日本海軍特設運送艦浮島丸（4,730 総トン）が大湊港を出港しました。しかし、この船は2日後の24日に連合軍の命令を受けて京都府舞鶴に目的地を変更、舞鶴港内で海底のアメリカ軍が敷設していた機械水雷により爆沈しました。当時の日本政府の発表によると朝鮮人送還者3,725名、乗員255名のうち、朝鮮人524名、海軍軍人25名が死没しました。この浮島丸事件は日本軍およびアメリカ軍の公式記録では共に海底の機雷の爆発による

沈没とされていますが、当時より自沈説や謀略説の風評があります。生存者の証言の中にも乗船以前からこうした噂は大湊でもかなり流布されており、乗船を見合わせた朝鮮人も相当数あったことも知られています。

むつ市での追悼集会は今年で28回目となり、例年通り、中央公民館駐車場に20名が参加し犠牲者の冥福を祈りました。奇しくも今年は大畑、下風呂の豪雨被害の回復のため、朝鮮労働者の県内最大の強制労働による大間鉄道遺構の一部が撤去される皮肉な時期の集会でした。

終戦直後、下北地方で労働を強いられ、朝鮮人として「浮島丸事件」の追悼集会が22日、同船が出港した場所に当たる、むつ市中央

むつ

浮島丸事件 忘れない 追悼集会 20人参加し献花



追悼集会で献花する参加者



★1977年8月にこの浮島丸事件を扱ったNHKドキュメンタリー番組「爆沈」が放映され、当時はかなりの反響があったとのこと。

★下段及び次ページ上段にはこれをテーマとした故鳴海健太郎氏の文章を「ウィークしもきた」8月7,17日号から転載した記事があります。

★ここで紹介するDVDは画質が良くないですが栗橋の手元にあります。この事件を扱った映画「エイジアンブルー・浮島丸サコン」DVDもあります。鑑賞希望の方はご連絡ください。

市民団体「浮島丸下北の会」（村上肇一会長）が毎年、同船が出港した8月22日に合わせて開催しており、今年で28回目。村上会長は「浮島丸事件から76年を経た今も多くの犠牲者の遺骨が東京の祐天寺に眠っている。一日も早く、祖国の地で安らかに眠れるよう政府に働きかけていかなければならない」とあいさつ。参加者が献花台に花を手向けた。

浮島丸は1945年8月22日、帰国する朝鮮人ら約4千人を乗せて釜山港に向け出港、24日に爆沈した。朝鮮人524人、旧海軍乗組員25人が死した。（柿崎洋樹）

2021/8/27 東奥日報

下北 史点才苗

映像の記録“爆沈” 鳴海健太郎

「ウィークしもきた」（3回連載のうち2回）より転載

- 一九七七年（昭和五二）八月十三日（土）NHKドキュメンタリー「爆沈」（二十二時二十分、四十五分）と題し浮島丸事件を特別番組で放映した。
- 全国放送であり現代的意義を世に問うたものである。私は下北現代史とも受けとめ、映像の記録を文字の記録に変換し編年体にとめてみることにした。
- 一九三七年（昭和一二）
- 大阪商船KKの浮島丸（四、七三〇トン）は岡山県玉島で進水。ディーゼル・エンジンを積む最新鋭の客船。最大速度は十七ノット。客室は一等から三等。定員は八百四十一名。大阪と沖繩を結ぶ定期船。
- 一九四一年（昭和一六）九月
- 浮島丸が日本海軍の徴用船となり横須賀に配属となる。
- 一九四三年（昭和一八）五月
- アッツ島守備隊全滅（玉碎）以降北方防衛戦が後退をつづける。
- 一九四五年（昭和二〇）一月
- 大本営は本土決戦体制を強化。
- 一九四五年（昭和二〇）四月
- 浮島丸、千島列島から撤退作戦に従事するため大湊警備府に回船される。
- 一九四五年（昭和二〇）八月十五日
- 浮島丸が津軽海峡を函館に向って特攻隊員を輸送中敗戦を聞く。復員のため大湊に錨を降下したのはそれから三日後。
- 一九四五年（昭和二〇）八月十五日
- 本日現在大湊警備府のディーゼル・エンジン用燃料の備蓄がゼロ。（出航計画は無謀といわれる）
- （注）軍刀を振りあげて出港を迫ったのは清水善治海軍少佐（通称、千島参謀 機関参謀だった。（海軍機関学校同窓名簿）
- 一九四五年（昭和二〇）八月二十日
- 浮島丸の海軍乗組員が、非常召集。千島参謀が船に乗り組む。銃をもった水兵も一緒。
- 一九四五年（昭和二〇）八月二十一日
- 政府が強制移入朝鮮人の徴用解除方針を決定。
- 一九四五年（昭和二〇）八月二十一日
- 大湊令第五二二号「八月二十四日一八〇〇以降、特二定ムルモノ外航行中以外ノ艦船ヲ禁止ス。」浮島丸が大湊を出航する一日前である。
- 一九四五年（昭和二〇）八月二十二日
- 大海令を受理した大湊警備府は二十二日夜十時、釜山に着けないのを承知で朝鮮人を乗せた浮島丸を出港させる。
- 一九四五年（昭和二〇）八月二十四日
- 浮島丸（四、七三〇トン）舞鶴港湾にて十七時二十分、佐波賀沖三百米の所で大音響とともに爆発。船体が真二つに折れ沈没。
- 一九四五年（昭和二〇）八月二十六日
- この日アメリカ占領軍、大湊上陸予定日とする。



「アイゴーの海—浮島丸事件 下北からの証言—」（下北の地域文化研究所／刊）より

NHKの「爆沈」を
観てから十四年は過ぎ
た。にもかかわらず爆
沈の真相の糾明を
怠った日本政府の対応
の仕方が批判されても
致し方がない。今なお
「触雷説」一点張りの
人がいると思えば、韓
国の生存者のように
「自爆説」を断言する
人々もいる。

現代史の方法論は、
その謎解きをするに違
いない。

○一九四五年 昭和二
〇八月三十一日
浮島丸の死亡者は朝
鮮人五百二十四人、
乗組員二十五人と伝
えられた。

(注)この事件は一切
報道されなかつ
た。

○一九四五年 昭和二
〇八月三十一日
海軍省は「浮島丸ハ
帰鮮ノ目的ヲ以テ大
湊発航中、二四日
一七時二〇分舞鶴港
内ニ於テ触雷、沈没
セリ」と発表。

○一九四五年(昭和二
〇九月二日
朝鮮帰国希望者のた
めに第一船「興安丸」
を出航させる。

(注)乗船した者は三
分の一にも達し
なかつたとい
う。

○一九六九年(昭和四
四)八月
青森市の朝鮮人学校用
務員固本英出氏証言
「大湊で八月十五日昼
ごろ急に仕事をやめろ
と言われた。宿舎に
帰ったら日本が敗けた
と分かった。朝鮮に帰
らなければ配給が止め
られると会社と言われ
た。ハシケで浮島丸に
乗せられた。」

○一九七七年(昭和五二
六月
鳥海証言(Ⅰ)元浮島丸
艦長島海金吾海軍中佐
「出港命令が大湊警備
府単独の命令だった。」

○一九七七年(昭和五二
六月
鳥海証言(Ⅱ)「まちが
いなく浮島丸は釜山に
向かうつもりだった。
しかし、八月二十四日
の昼、敦賀沖で突然入
電あり。舞鶴に入港せ
よと。理由がわからな
かった。」

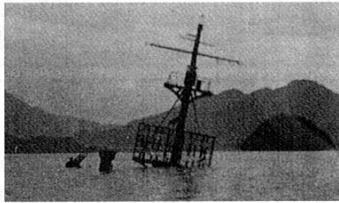
○一九七七年(昭和五二
六月
鳥海証言(Ⅲ)「浮島丸
から救助されて
舞鶴鎮守府に出
頭した時、はじ
めて連合軍から
航行禁止の指令
が出ていること
を知らされた。」

○一九七七年(昭和五二
六月
旧大湊警備府は
暴動を恐れて浮
島丸の単独計画をた
て、朝鮮人を強制送
還しようとした実態
が浮上してきた。

○一九七七年(昭和五
二)六月
三、七二六名(政府
発表)の朝鮮人が浮
島丸に乗せられ船倉
に質の子が敷かれ
た。三人一組で編成
された乗り組員が暴
動の気配がないかと
交代で監視した。

朝鮮人であれ日本人
であれ、利害関係は抜
きにして素直に「証言
録」というものはきち
んと残さなければなら
ない。NHKの調査に
よれば、厚生省引揚援
護局で浮島丸の死亡認
定書のもとに軍属の身
分が与えられた者の給
与計算がなされたが、
誰にいくら支払われた
かは不明というて
いる。

(平成三年記)



「アイゴの海
—浮島丸事件 下北からの証言—」
(下北の地域文化研究所／刊より)

《舞鶴市から下北を訪れた訪問団の記録から》

日本で最も過酷な朝鮮人強制労働現場の一つと言われる大間鉄道建設

朝鮮人労働者たちは鉄道や海軍ドック、飛行場などの建設現場でどんな作業の毎日を送っていたのか。地元の人たちが目撃した様子を証言している。

「タゴ(タコ)」と呼ばれた労働者たちは、2人が1本の丸太に吊るしたモッコで土を担いで運んだ。背負子のむき出しになった針金の紐が、上半身裸の肉に食い込み血が流れ、時には化膿して膿がダラダラと背中を伝い、その中を蛆が蠢く。履物はほとんどの者が裸足にセメントの袋を履いて、縄でぐるぐる巻きにして歩いていた。作業現場には監視をする棒頭(ぼうがしら)が必ずおり、動作が鈍い者を容赦なく棍棒で殴りつけた。大湊の海軍病院に勤務した元看護婦は「棒頭に殴られて手足の骨を折られて治療に担ぎ込まれてきた」という。

こうした労働にたまりかね、逃亡する朝鮮人も多かったとされる。逃亡者が出ると作業を中断して全員で追跡した。下北は要塞地帯であるが故、警察や憲兵の監視が厳しく逃亡は困難だった。捕まると見せしめのため激しいリンチが加えられた。

そんな中でも逃げてきた朝鮮人を匿い、逃亡を手助けた下北の人々もいる。ある漁師は日本人の漁師の格好をさせ、船に乗せて北海道へ逃がした。イカ漁の盛んな大畑町で暮らす漁師らの七軒番屋では、近くの飯場で生活する朝鮮人労働者たちを呼び寄せ、一緒に食事をするなど親交を持った。

最も過酷だったのが大間鉄道建設。下北から半島最北端の大間までの約50キロの路線。1937(昭和12)年ごろ着工し、39年12月に下北駅～大畑駅が開通。その後も建設は続けられたが43年12月工事は中止に。トンネル工事などで多くの犠牲者を生んだ。

舞鶴の一行は8月27日、事件を語り伝える「浮島丸下北の会」の案内で、鉄道跡などを見て回った。風間浦村

下風呂の12連アーチ橋は、1億2千万円をかけ94年に修復工事が完了し、現在は長さ270メートル、幅3メートルのメモリアルロードとして保存されている。むつ市大畑町に残る二枚橋のアーチ橋(長さ101.5メートル)。下風呂アーチ橋と同じく、鉄筋は入っておらず木枠にセメントを流し込み、積み上げていったコンクリート製だ。足場を組み重い資材を運び上げたが、高い陸橋から落ちて大けがをしたり、死ぬ者もいた。風雪に耐え一部が黒ずんでいる。

下北の会で保存を陳情したが、地元は取り壊しを要望している。強制労働を伝える巨大なモニュメントのようにそびえ立ち、当時を容易に思い起こさせる橋の存在に市民らは圧倒された。

最後に訪れたのは、沖合に停泊中の「浮島丸」に乗船するため集まった菊池栈橋跡。小さな栈橋が帰国を待ち望む人たちで身動きできない状態だった。栈橋はすでになく、海岸部は埋めたてられ駐車場になっている。下北の会の斎藤作治さん(81)＝むつ市＝は、防空壕掘りなどをさせられたキム・スゴンさんが47年ぶりに下北を訪れたときのことを語った。「菊池栈橋跡に立ったスゴンさんは『我々が強制連行されて、つらい労働をここでさせられたということを、日本人と下北の人たちは忘れないでほしい』という言葉を残していきました。それが私の浮島丸運動のバネになっています」と。

紙芝居上演スタッフとして参加した真下洋子さん(63)＝伊佐津＝は「辛い労働をさせられ、やっと故郷に帰れるという喜びで栈橋に集まって来る姿、そして船が沈んで絶望に変わる様子までもが目に見えるようでした」と話す。舞鶴市民の一人一人の胸に、建設現場跡に刻まれた重い歴史と下北の人たちの言葉がしっかりと届いた。(舞鶴市民新聞社ホームページより)

過酷な労働の末渡られぬ橋

幻の大間鉄道
(青森・むつ市)

戦後
76年
夏北の戦跡



下北半島の北端、津軽海峡に面したむつ市と大間町を結ぶ海岸線沿いには、巨大なアーチ橋やトンネルなど鉄道の痕跡が数多く残る。物資や労働力が不足し、1943年に未完成のまま頓挫した「幻の大間鉄道」の残像だ。

戦時中、大間嶺の周辺に津軽海峡を通る米国やソ連の潜水艦などを監視する要塞があら

た。そこに軍事物資や兵士を運ぶための鉄路が大間鉄道だった。敷設には大量の労働力が求められ、朝鮮半島から徴用された人々が厳しい労働を強いられた。

そんな残像を追い求め、大間鉄道の歴史に詳しいむつ市の元教員村上準一さん(74)と7月中旬、現地を歩いた。

労働者たちは窓が鉄格子の「タコ部屋」と呼ばれる宿舎に、監禁同然に収容されていたという。タコ部屋は海に面

そんな残像を追いつ求め、大たたという。タコ部屋は海に面



⑦完成したものの、大間鉄道自体が頓挫したため放置された巨大なアーチ橋。「二枚橋橋梁」と呼ばれている＝いずれもむつ市大畑町

朝鮮半島から徴用 帰路輸送艦は沈没

2021/8/14 朝日新聞

した場所にて建てられた。住民への聞き取り調査では、労働者をいじめる声が聞こえたとの証言があった。「山に逃げ込まれると行方が分からなくなる可能性がある。海辺だと身を隠すところがないので、脱走対策だったのだろう」。

非人道的な扱いに憤り、逃げ出した労働者を船で北海道へ逃がした住民もいたという。

工事が頓挫し、一時的に解放された労働者たちには、さらなる悲劇が待っていた。終戦間もない45年8月22日夜、

祖国への帰還を望んだ労働者と家族ら約4千人を乗せた海軍の特設輸送艦「浮島丸」が、韓国の釜山に向けてむつ市大湊を出航する。2日後、京都の舞鶴港で爆発し、沈没。朝鮮人524人と海軍乗

組員25人が亡くなった。
村上さんは、浮島丸の悲劇を語り継ぐ活動をしている市

大間鉄道のアーチ橋を改修

し、2005年に完成した「鉄道アーチ橋メモリアルロード」＝風間浦村下風呂

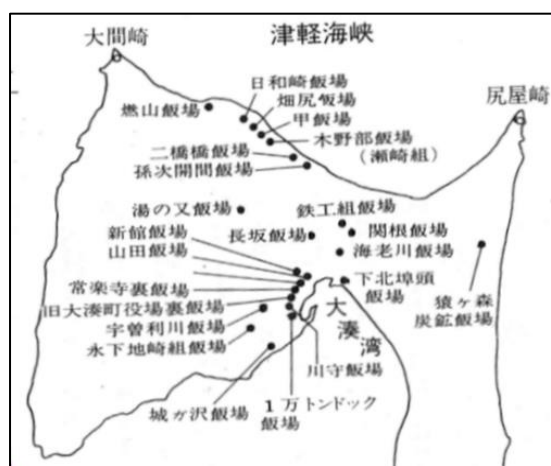


メモ

痕跡を見ただけでは、当時の悲劇を予想することは困難だ。だからこそ、「下北半島」であった悲劇の研究を続け、語り継がなければならぬ」という村とさんの言葉は重く響いた。（安田家典）

痕跡を目ただけでは、当時の悲劇を連想することは困難だ。だからこそ、「下北半島」であった悲劇の研究を続け、語り継がなければならぬ」という村土さんの言葉は重く響いた。

（安田彥典）



渋谷哲一県議が取り上げる 豪雨被害で露見した下北の道路の脆弱性と原子力避難計画

先日の豪雨で小赤川橋の崩落のみならず風間浦地区では各所で土砂崩落があり、通行止めが続いています。

こうした状況を踏まえて県議会で鹿内博議員とタッグを組んで原子力問題などを積極的に行動している渋谷哲一議員がこの問題を取り上げたものです。

この被害では下風呂地区の孤立が続いたことはもとより、一時は「かもしかライン」も通行止めとなるなど全国でも類を見ない脆弱な道路事情があらためて露見しました。

自然災害による原子力事故ではまさに複合災害が十分想定されるため住民の命は相当のリスクに晒されることが大いに想定されます。



下北避難計画 再点検へ

原子力防災 大雨、国道寸断受け県

9、10日の大雨による土砂崩れや橋の崩落で国道279号が寸断された事態を受け、青森県危機管理庁の橋本恭男局長は20日、「東通原発（東通村）の原子力災害時における広域避難の基本的な考え方、市町村の避難計画を改めて点検する必要がある」との認識を示した。

同日の県議会総務企画危機管理常任委員会では、渋谷哲一委員（県民の会）の質問に答えた。

東通原発の避難に関して、県が2016年3月に作成した避難の基本方針に基づき、炉心から30km圏内の市町村が避難計画を策定。基本方針では、原発北部の一部住民が国道279号などを通して、大間港から海路で避難することを想定している。

橋本局長は「避難計画などとは情勢の変化に応じて、点検見直しは必要」と認識している。今回の大雨の被害についても一つの教訓として捉え、適切に対応したい」と述べた。

（桑田友人）

8/21 デリー東北

むつ・中間貯蔵施設 設工認の初回分認可

原子力規制委

リサイクル燃料貯蔵（RFS、むつ市）は23日、使用済み核燃料中間貯蔵施設の安全対策工事に必要な「設計・工事計画の変更認可（設工認）」の初回分が原子力規制委員会に認可されたと明らかにした。

認可は20日付。主な内容は、電源車の燃料を保管する地下の軽油タンク新設など。タンクの建設には1年ほど要する見込みで、RFSは先行して工事を進めるために初回分として申請していた。

中間貯蔵施設は昨年11月に規制委の安全審査に合格した。RFSは設工認を2分割する計画で、2回目以降は貯蔵設備本体など残る全ての内容を申請する。申請時期については「準備が整った第一（担当者）」としている。

RFSは今年7月、暫定的な事業開始見込みを「2021年度」から「23年度」に延期した上で、設工認後に控える「保安規定の変更認可」の見通しが立った時点で時期を見極めるとの新たな方針を示した。

（加藤景子）

2021/8/24 東奥日報

【連合下北地協の取り組み 2題】

豪雨災害街頭カンパに取り組む

連合下北地域協議会は8月28日（土）、先の大畑赤川・下風呂地区の豪雨被災者支援の街頭カンパ活動を会長、事務局長以下がマエダ本店前で取り組みました。

当日は午前中だけの取り組みでしたが、新川事務局長によると通りかかった多くの市民が快く応じてくれてわずかの時間でビックリするほど大きな成果があったと話していました。集まった義援金は早速、むつ市及び風間浦村へ第一次分として届けることとしています。

また、9月7日には連合下北地協としてボランティア派遣も予定しているとのこと。



オンライン政治学習会開催

連合青森は8月28日（土）午後1時半よりオンラインによる政治学習会を開催しました。下北地協も市内のはねやホテルで10数名が集い、ZOOM 参加しました。

学習会は「連合政治センター」の川島事務局長から今後の衆院選を中心に連合としての政治活動について基調提起を受け、田名部匡代参議院議員からの衆院選を巡る情勢報告などがありました。

最後に本県の小選挙区立候補予定の3名（1区：升田世喜男氏、2区：高畑紀子氏、3区：山内崇氏）がそれぞれ各会場から決意表明を行いました。



いよいよ「スガ政治」を退場させる総選挙です

新型コロナウイルス感染症の広がりの中、政権が打つ対策はことごとく的外れで今日の蔓延を招いています。人間の尊厳を顧みず、為政者の自己正当化のために情報隠しを行ってきた前安倍内閣とそれに続く菅内閣では当然のことかもしれません。

私たちは、今こそ「法と道徳に基づいて人間のいのちと尊厳を守る政治」が必要だと考え、来る衆議院選挙こそ、その実現のため大きなチャンスだと考えます。

今さらですが、衆議院選挙のしくみ

定数 465 議席～過半数は 233 議席

(小選挙区 289 議席・比例代表 176 議席)

政党に所属していれば小選挙区と比例代表に重複立候補できます

289人が小選挙区選出議員

全国 289 の選挙区ごとに、得票数の一番多い候補者 1 人が当選します。
有権者は個人名で投票します。

●は小選挙区の数



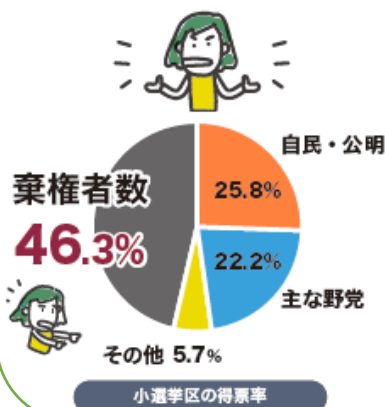
176人が比例代表選出議員

全国の都道府県を 11 ブロックに分け、ブロックごとに定数が決められています。
有権者は「政党名」で投票し、ブロックごとに政党の得票数に基づいて、党ごとの議席数が決められます。そして、各政党の候補者名簿の上位から(同位なら「惜敗率」の高い)順に当選者が決まります。

衆議院選挙比例代表選挙区と各選挙区別定数
(定数 176 人)

ブロック	都道府県	定数
北海道	北海道	8
東北	青森 / 岩手 / 宮城 / 秋田 / 山形 / 福島	13
北関東	茨城 / 栃木 / 群馬 / 埼玉	19
南関東	千葉 / 神奈川 / 山梨	22
東京	東京	17
北陸信越	新潟 / 富山 / 石川 / 福井 / 長野	11
東海	岐阜 / 静岡 / 愛知 / 三重	21
近畿	滋賀 / 京都 / 大阪 / 兵庫 / 奈良 / 和歌山	28
中国	鳥取 / 島根 / 岡山 / 広島 / 山口	11
四国	徳島 / 香川 / 愛媛 / 高知	6
九州	福岡 / 佐賀 / 長崎 / 熊本 / 大分 / 宮崎 / 鹿児島 / 沖縄	20
合計		176

一方で、全有権者のうち
棄権者が 46.3% も!



与野党逆転、政治の転換の最大の敵は**棄権**です!

「いつも投票に行く人」は与党支持の人が多く傾向にあるので、棄権はそのまま、現政権に投票することと同じ結果になります。

まさに『**棄権はキケン!**』



すべては青森のために… ますた世喜男(衆院青森1区予定候補)

むつ・下北地域で豪雨災害が発生しました。早速現地へ直行。河川は流木が大量に散乱、雨の激しさを目の当たりにしました。大畑では河川が氾濫、床上浸水も発生。ある方は『早朝 5 時ころ異変に気づきあわてて避難』と話してくれました。風間浦はすでに通行止めで被災現場には行けませんでした。立憲のむつ・下北支部の能登勝彦支部長(村議)から色々お話を伺うことができました。被害に見舞われた全ての方々に、心からお見舞いを申し上げます。

コロナ禍、多くの人々も苦しんでいます。無能・無策な菅政権は退陣、政権交代を実現させる。それが私の任務と思い頑張ります。青森市民の「ますた」を国会に復帰させて下さい。皆様のご理解ご指導をお願いします。

元衆議院議員 立憲・災害対策特別委員会代表代行 升田世喜男

